

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<研究主題 >

地域に誇りと愛着をもち、すすんで関わる天伯っ子の育成
 ～「環境保全」「地域の歴史と産業」の学習を基盤にしたESDの推進を通して～

<研究2年目>

以下のように、「環境保全」「地域の歴史と産業」のESDの視点に立ち、体験活動を生かした問題解決的な授業実践に取り組んだ。

	ESD 視点	重点単元	内 容
1年 生活科	地域を知る	「あきって きもちがいいね」	トレーニングセンターでドングリ拾いを行って季節を味わった。また、行き帰りの道では木々の色づく様子や熟した木の実を発見し、自然への関心を高めた。
		「天伯保育園との交流会」	天伯保育園の園児を招き、手作りおもちゃや1年生の学習の紹介をした。学習への意欲が高まり、下学年への接し方や自分の役割を果たす姿勢が身についた。
2年 生活科	地域にふれる	「天伯大好き」	地域の施設等の見学や、地域の人へのインタビューを通して人と関わることで、天伯のよさに気づいた。
3年 総合 社会	地域の産業にふれる	「農家の仕事」「スイカを育てよう」	校区の中田園芸や豊橋種苗を見学したり調べたりして、スイカや野菜づくりなどの天伯の農業のよさについて学んだ。
4年 総合 社会	環境保全	「八田平川をふるさとの川に」	八田平川の環境調査をし、清掃や EM 菌放流をすることで、環境保全の難しさや自然を大切にすることの重要性について理解を深めた。
		「ごみのしよりと利用」	地域にある資源化センターの見学を通して、環境問題に関心をもった。
	地域の歴史にふれる	「天伯原の開拓」	開拓資料館を訪問し、地域の方から開拓当時の苦労を聞いたり、写真や道具等の資料を見たりして、天伯原の歴史を学んだ。
5年 総合 社会 行事	地域と共に取り組む	「一粒の命を大切にしよう」	PTA とともに、実習田で田植え・草取り・稲刈りを実施した。また、脱穀・粃すりを一部手作業で行うなどの勤労体験を行った。 単元の終末には、全校行事である「感謝の会・もちつき会」で、収穫したもち米を使用した。日本の伝統や食文化を見直すとともに、地域の方のボランティア活動に感謝の気持ちをもった。
6年 総合 社会	地域の人にふれる	「ふれあいの輪を広げよう」	単元の導入では「車椅子の方からお話を聞く出前授業」、展開では「車椅子体験後にアドバイザーから指導をいただく出前授業」、終末では「校区内の老人ホーム訪問」の学習を組み立て、地域に目を向け、自分たちのできることに気づいた。
		「長く続いた戦争と人々の暮らし」	日本の戦争の様子や豊橋空襲の様子を聞き、戦争の悲惨さを知ることができた。経験者に語っていただくことで、「戦争を繰り返してはならない」「伝えなくてはならない」という思いを高めた。
にこに 生単	地域の人にふれる	「手作りカレンダーを作ろう」	手作りのカレンダーを、校内だけでなく校区市民館や地域の集会場へ配付した。カレンダーの作成時に、学校の仲間や地域の方に喜んでもらえるよう、心を込めて作った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）